

# 特別支援教育について

令和6年度第1回保護者会  
特別支援教育コーディネーター

子供の成長で大切なことのひとつ

---

分かった！ できた！

を増やすこと

# 「分かった！」「できた！」を経験するために必要なことを考えてみましょう

- 野球の試合を見に行くことになりました
- どうしたら、3人の子供が野球の試合を楽しむことができるでしょうか



# 「分かった！」「できた！」を経験するために必要なことを考えてみましょう

- 3人の子供に平等に、台を1つずつ置いてみました

しかし...

- 一番背の低い子は、試合を楽しむことができません
- 3人が楽しむためにはどうすれば良いでしょうか



# 「分かった！」「できた！」を経験するために必要なことを考えてみましょう

- 1番背の低い子に2つの台を  
2番目に低い子に1つの台を  
置いてみました
- これで、3人が試合を楽しむことができます



# このような配慮を・・・

- **合理的配慮**

といいます

- 自分の特徴を理解し、自分で対応する力や困っていることを周りに伝える力を育てることが大切です
- 他にも3人が楽しめる方法はあるでしょうか？



# 「分かった！」「できた！」を経験するために必要なことを考えてみましょう

- もしもブロック塀がフェンスだったら…
- 何もなくても、3人の子供たちが試合を楽しむことができます



## このような配慮を・・・

- ユニバーサルデザインと  
いいます
- 社会は、ユニバーサルデザイン  
化が進んでいます
- しかし、まだまだ時間は必要です



どんな時に  
支援が必要なのでしょうか

---

**学習面・行動面**

# 学習に関わる 大人から見た「困ったな」

なかなか自分の  
意見が書けない

聞くタイミングに  
なっても  
書き続けている



文字を書くのが  
ゆっくり

# 学習に関わる 子供の困り感・思い

何を書くのか  
分からない……

書く量が  
多すぎる！

あの漢字  
どうやって  
書くんた？



# 行動に関わる 大人から見た「困ったな」

落ち着きがない



指示通りに  
動けない

場に合わせた  
行動ができない

# 行動に関わる 子供の困り感・思い

外の音が気になるな

今は寝っ転がり  
たいんだ！



わあ！人が  
いっぱいいる！

褒めてもらいたい気持ちは みんな同じ

---

分からない、できないの背景には

必ず **子供の困り感** があります

# 特別支援教育とは

---

子供の困り感 に寄り添い

分かった！ できた！ を増やすことです

# そのために

---

いろいろな支援の方法があります

家庭でできる支援、教室の中でできる支援、個別の支援…

**心配なこと、気になることがあったら  
いつでもご相談ください**